

令和2年度進行管理・評価シート
佐渡市歴史的風致維持向上計画（令和2年3月24日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画法との連携	2
2 景観法、屋外広告物法、佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観、自然公園法との連携	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 相川郷土博物館整備事業	4
2 旧佐渡鉱山採鉱施設保存活用整備事業	5
3 史跡佐渡金銀山遺跡保存活用整備事業	6
4 重要文化的景観整備事業	7
5 空き家等対策事業	8
6 地域防災力向上支援事業	9
7 道路美装化事業	10
8 階段整備事業	11
9 街路灯整備事業	12
10 地域行事等支援事業	13
11 北沢浮遊選鉱場ライトアップ事業	14
12 まちあるきによる文化財等散策事業	15
13 観光パンフレット多言語化事業	16
14 観光ガイド育成・活用事業	17
15 渋滞緩和対策事業	18
16 来訪者用トイレ改修事業	19
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 (検討中)	20
2 文化財の修理、防災・防犯について	21
3 文化財に関する普及・啓発について	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 国の歴史的風致維持向上計画 相川重点、市申請が認定	23
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 地域住民の認知度向上	24
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	25

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
歴史的風致維持向上計画の実施体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 佐渡市世界遺産推進課、建設課を中心とした庁内推進体制を構築するとともに、法第11条の規定に基づく「佐渡市歴史的風致維持向上協議会」において、計画の進捗管理や変更等の連絡、調整、協議を行い、事業の推進を図る。
 また、必要に応じて文化財や都市計画、景観に関する審議会や専門家会議等に事業の実施状況を報告し、助言を求める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

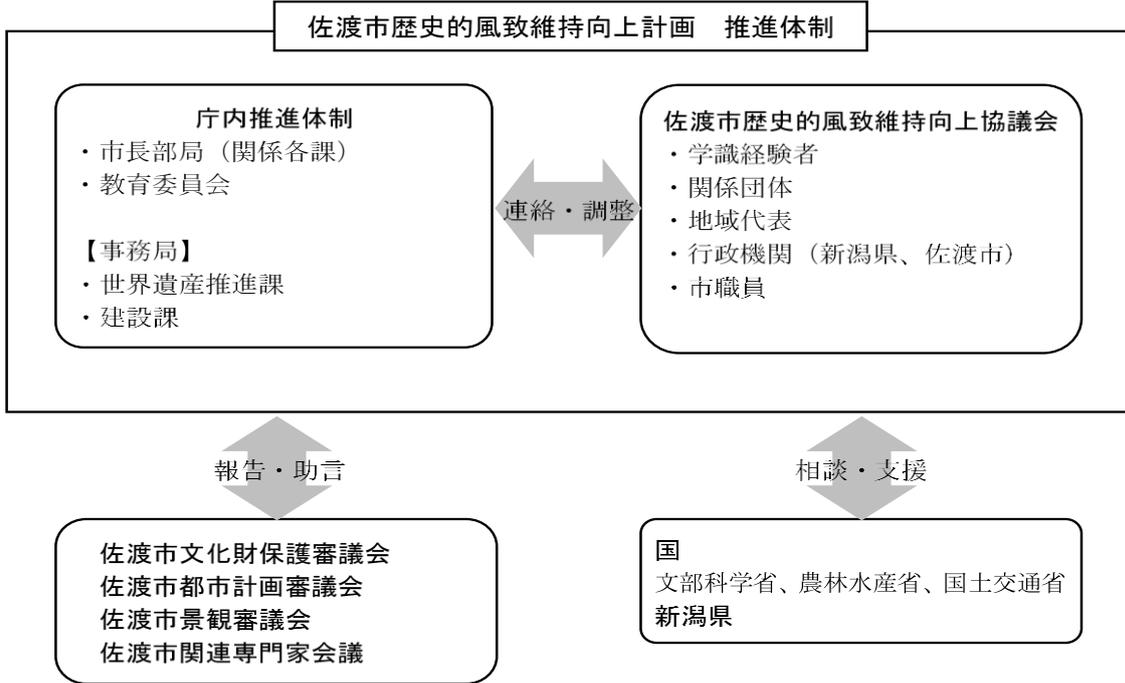
佐渡市歴史的風致維持向上計画の進行管理にあたり、令和2年度の事業の推進について協議を行うため、令和2年7月に書面にて、令和3年3月には一部リモートによる「佐渡市歴史的風致維持向上協議会」を実施した。また、庁内連携を図るため、同年11月に「庁内検討会議」を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染防止対策を行いながら実施した。

状況を示す写真や資料等

●計画の推進体制



庁内検討会議

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度
		現在の状況
都市計画法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

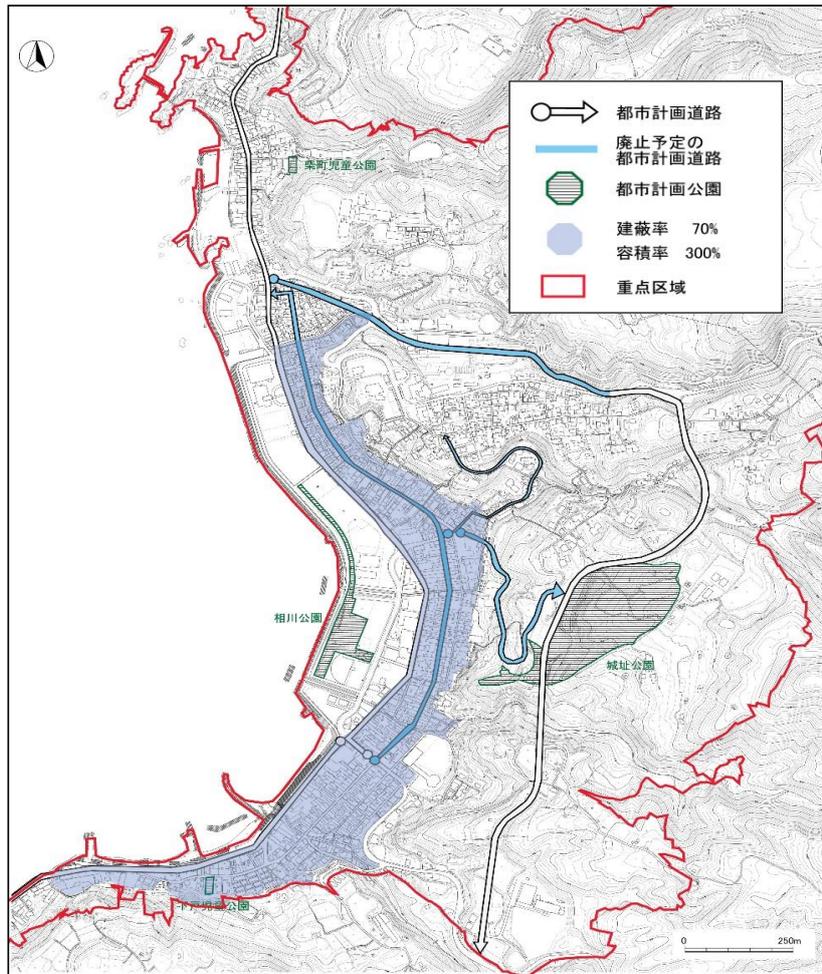
計画に記載している内容
 重点区域の範囲である相川地区では、重点区域の全域が非線引き都市計画区域に含まれる。なお、用途地域は指定されておらず、下町では建蔽率70%、容積率300%に定められているほか、上町及び下町の住宅が密集している地域は建築基準法第22条区域や、一部では準防火地域に設定されている。本市では、地域の実状に応じた適切な土地利用誘導を図っているところであり、今後も引き続きこれらの都市計画に基づきながら、良好な市街地環境の形成を図っていくこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

良好な市街地環境の形成のため、都市計画の各種規定に基づき、土地利用規制等を行った。
 開発許可の審査: 1件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



都市計画法に基づく規制等の状況

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度
景観法、屋外広告物法、佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観、自然公園法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 佐渡市では上記施策に関連する取組みが進められている。今後も引き続きこれらの施策を継続し、連携を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

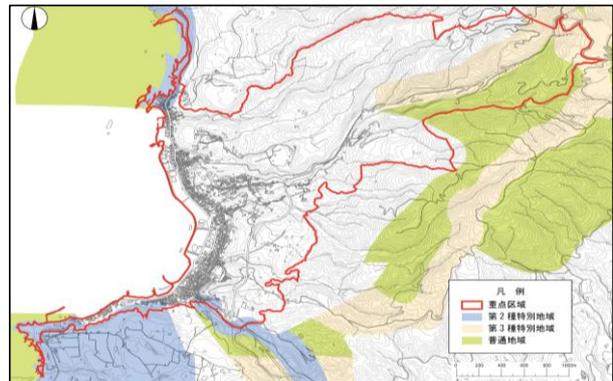
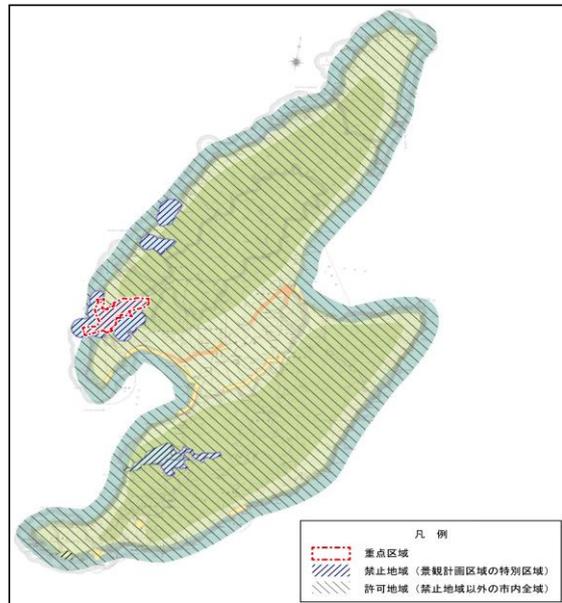
- ・景観法との連携: 協議実績18件(建築物・工作物の新築や改築等を行う際は必ず事前協議を行う)
- ・屋外広告物法との連携: 協議実績5件
- ・文化財保護法との連携: 重点区域と重要文化的景観選定範囲が重複するため、各担当者間での情報共有を3回行った
- ・自然公園法との連携: 協議実績2件(開発行為を行う際は必ず事前協議を行う)

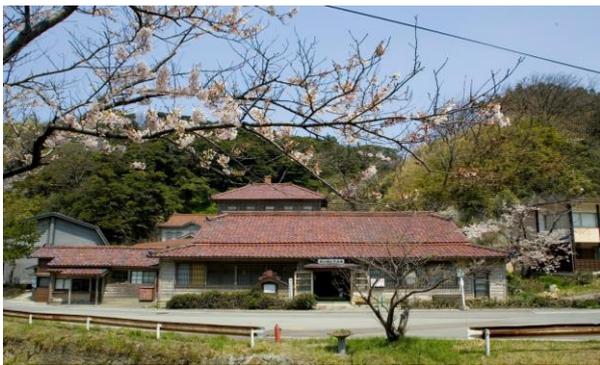
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
相川郷土博物館整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	史跡「佐渡金銀山遺跡」の一部である御料局佐渡支庁跡は現在、相川郷土博物館に利活用されているが、経年劣化による破損等が懸念される。今後も引き続き来訪者が訪れる施設であるため、耐震補強を含む改修や展示内容の変更を伴う整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
耐震や改修に関し令和2年12月と令和3年3月に整備方針について文化庁協議を2回実施した。また、令和2年9月、12月及び令和3年3月に開催された史跡佐渡金銀山遺跡保存整備に関する専門家会議での意見をふまえ、耐震基本設計を策定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度の実施設計時に展示計画の策定も行うことから、資料の調査及び目録の作成が必要である。 令和4年度からの工事開始に向け、既存展示資料の保管場所の確保及び移動計画の策定が必要である。		
状況を示す写真や資料等			
			
相川郷土博物館		専門家による現地視察の様子	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
旧佐渡鉱山採鉱施設保存活用整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和11年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 重要文化財(建造物)「旧佐渡鉱山採鉱施設」である大立堅坑櫓、大立堅坑捲揚機室、高任粗砕場は、経年劣化による建造物や構造物等の毀損が進行しているため、これらの修理をはじめとする保存や公開活用に向けた整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大立地区(大立堅坑櫓、大立堅坑捲揚機室)の保存修理に向けた仮設材設置工事を実施した(2カ年計画1年目)。高任地区(高任粗砕場)の保存修理に向けた内部足場設置工事を実施した。
 令和3年3月に開催した佐渡市建造物保存活用に関する専門家会議において、専門家との協議を実施し、大立地区の整備方針に関する意見を伺った(専門家意見については、令和3年度における調査・設計業務内容への反映を検討する)。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

重要文化財に指定されている建造物の劣化や毀損が進行しており、保存修理に要する期間の長期化や修理費用の増加も想定されるため、他自治体における修理事例や専門家による指導を受けながら、適切な修理内容・事業スケジュールの更新や予算削減に向けた取り組みを進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



大立堅坑櫓



大立堅坑櫓保存修理に伴う調査の様子



高任粗砕場



高任粗砕場足場設置の様子

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
史跡佐渡金銀山遺跡保存活用整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 相川地区の史跡「佐渡金銀山遺跡」において、専門家の指導・助言を受けながら、経年劣化の進行する遺構の保存に向けた測量調査等を実施するほか、来訪者用の解説・誘導サインを設置し、受け入れ態勢の充実を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡佐渡金銀山遺跡の構成資産である大間地区の大間港トラス橋の地上レーザ3次元測量を実施し、今後の保存方法の検討や劣化状況の経過観察資料とするため、レーザによる測量を行い、3次元点群モデルを作成した。

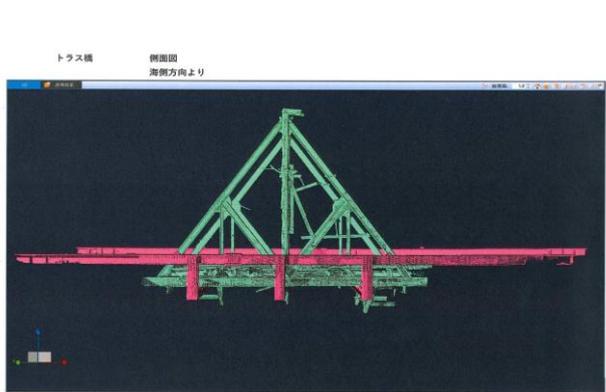
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	測量成果を基に、定期的な経過観察を継続し、専門家や文化庁・新潟県の指導を仰ぎながら、保存方法について検討を進める必要がある。
--------------------------	--

状況を示す写真や資料等



測量対象である大間港トラス橋



3次元点群モデル

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
重要文化的景観整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和11年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用整備事業費補助金

計画に記載している内容 地域内には、重要文化的景観の重要な構成要素となっている歴史的な建造物等が多数存在しているが、それらの建造物等の修理や修景に関する費用の一部を補助金により支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要文化的景観の重要な構成要素となっている建造物4件の修理事業に対して補助金を交付した。また、次年度に修理を予定する建造物(相川地区4件)の現況調査を実施し、劣化状況や修理方針の検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

重要文化的景観の価値を保存しつつ適切に建造物を修理するため、所有者及び施工業者と綿密な連携を図る必要があるが、これらの協議にあたり協議時間が長期化してしまう場合がある。このため、より円滑な事業の進捗を行なうために、行政だけでなく所有者や施工業者へ制度等についての説明や講習会を開催したい。

状況を示す写真や資料等

大安寺 屋根修理



修理前



修理中

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
空き家等対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和11年度

支援事業名 空き家対策総合支援事業・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 空き家等の有効活用を通して、地域の活性化及び良好な景観の形成の促進を図ることを目的に、空き家等の再生に必要な改修経費等の一部について補助金を交付する。
また、歴史的建造物ではなく、景観を阻害している物件については、所有者等と連携を図り、除却する対策を講ずる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

特定空き家等及び不良住宅の所有者等による除却支援を行った(2件)。
空き家住宅等の所有者調査を実施した(12件)。
空き家利活用PRリーフレットを2000部作成し、関係者へ配布を行った。また、利活用に関する相談会を実施した(2回)。
重点区域である相川地区の歴史的建造物の修理事業に対し補助金を交付した(当初計画5件→交付決定5件)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	1年間での修理事業となるため、修理内容の検討や景観保全に向けて、所有者や施工業者に対し適切な施工方法への誘導や管理を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



空き家に関する利活用相談会の様子



空き家活用に関するリーフレット

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
地域防災力向上支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和11年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 文化的景観を構成する建造物が密集する上町等において、火災等に対する安全対策のため、耐震性貯水槽及び消火栓を整備するなど、防火機能の強化を図る。
また、自主防災組織の育成・強化のため、講演会や防災訓練を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

耐震性貯水槽を設置する位置を決定するため、市消防署と市埋蔵文化財係等立会いのもと現場協議を行った。設置する水槽が100t規模であること、予定地が埋蔵文化財包蔵地に該当するため、文化財への影響を考慮し関係各課との調整を密に行なった。
また、地域住民による島内先進地視察や意見交換会を3回実施し、自主防災組織の育成・強化に向けた取組みを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

水槽設置に関しては、国庫補助金を利用して行うため、採択されない場合は計画が次年度以降にずれ込むおそれがあり、そうなった場合は関係各課と再調整が必要となる。
地域住民の防災に対する意識向上を図るため、防災設備の取扱い方、避難・誘導の方法について、講習や訓練を継続して取組みを進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



耐震性貯水槽を設置するための現場協議



島内先進地(宿根木地区)視察の様子



先進地(八幡地区)の講師による
防災に関する取組み紹介の様子

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
道路美装化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和2年度～令和6年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
計画に記載している内容	歴史的建造物等を散策する際の来訪者の利便性向上のため、重点区域内の市道の舗装及び側溝蓋等の美装化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年12月、令和3年3月に佐渡市文化的景観の保存及び整備に関する専門家会議にて道路美装化事業等の実施に関する意見を伺い、舗装や側溝の主要材料の選定を行った。
 また、地域住民や商店街関係者の意見を事業に反映させるための意見交換会を合計4回実施し、概ね方針通りの賛同を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度の実施設計を策定するにあたり、特に既存舗装との切り替え部分等について、引続き専門家会議や意見交換会を基に検討していく。

状況を示す写真や資料等



専門家会議での現地視察の様子
(令和2年12月)



地域住民との意見交換会の様子
(令和3年1月)



商店街関係者との意見交換会の様子
(令和3年2月)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
階段整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	坂の多い重点区域内において、市民や来訪者の歩行を補助するため、周囲の歴史的な背景を持つまち並みに調和した階段の整備及び手すりの設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年12月、令和3年3月に佐渡市文化的景観の保存及び整備に関する専門家会議にて階段整備事業等の実施に関する意見を伺い、改修方針の選定を行った。 また、地域住民や商店街関係者の意見を事業に反映させるための意見交換会を合計4回実施し、概ね方針通りの賛同を得た。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度の実施設計を策定するにあたり、特に階段手すりの基礎部分等について、引き続き専門家会議や意見交換会を基に検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
評価軸③-7に同じ			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
街路灯整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 歴史的な風情を色濃く残すまちなみのイメージアップを図るため、街路灯の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年12月、令和3年3月に佐渡市文化的景観の保存及び整備に関する専門家会議にて街路灯整備事業等の実施に関する意見を伺い、活発な議論を行った。
 また、地域住民や商店街関係者の意見を事業に反映させるための意見交換会を合計4回実施し、概ね方針通りの賛同を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度の実施設計を策定するにあたり、特に灯具の選定等について、引続き専門家会議や意見交換会を基に検討していく。

状況を示す写真や資料等

評価軸③-7に同じ

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
地域行事等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民団体が主体となつて行う祭り行事、イベント等である「春日神社薪能」、「宵乃舞」などに対し、さらに多くの集客を図るため、その費用の一部を支援する。なお、必要に応じて学識経験者など、専門家からの指導・助言を得ながら、文化財としての価値についても考慮し、事業を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域で実施される地域活動団体による地域づくりの取り組みに対し、助成を行った(1件)。支援を受けて実施された「宵乃舞」は、例年6月に開催されているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため予約制とし、観客数を縮小して実施した(集客数:798名)。※春日神社薪能は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



会場変更で開催した「宵乃舞」の様子

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
北沢浮遊選鉱場ライトアップ事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和11年度

支援事業名 離島活性化交付金

計画に記載している内容 世界遺産を目指す相川地区において、当時の歴史・文化を色濃く残す北沢浮遊選鉱場において、夜間ライトアップを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年6月1日から令和3年2月28日まで点灯を実施し、延べ13,515人が鑑賞した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

夜の魅力ある観光地づくりとして、関連イベントを実施する等、さらなる賑わい創出を検討する。

状況を示す写真や資料等



北沢浮遊選鉱場ライトアップの様子

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
まちあるきによる文化財等散策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 来訪者が重点区域内の各所に存在する歴史的建造物を廻るため、健康づくりを兼ね、まちあるきを行うための散策コースを設定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民生委員等からなる会議にて歴史的風致維持向上計画事業に関する説明を行った。今後、具体的なコース設定について検討していくこととした。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



検討会議の様子
(令和2年7月)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
観光パンフレット多言語化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 地方創生推進交付金

計画に記載している内容 外国人観光客を含めた来訪者に効率的・効果的に情報発信するため、多言語に対応したパンフレット等を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

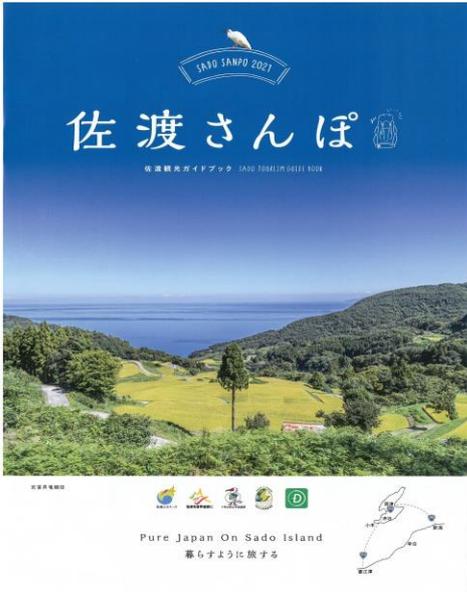
コロナ禍でインバウンド需要も見込まれないことから、令和2年度は多言語に対応した観光パンフレットは作成しなかった。代わりにスマートフォン等利用者の増加に対応するため、観光パンフレット「佐渡さんぽ」のデジタル化(日本語、英語)を行った。

- 令和2年度 「佐渡さんぽ」日本語・英語のデジタル化
 - ※日本語デジタルパンフは「さど観光ナビ」「佐渡汽船ホームページ」に掲載。
 - ※英語デジタルパンフは「トキめき佐渡・新潟観光圏ホームページ」に掲載

進捗状況 ※計画年次との対応

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) コロナ禍において各種観光イベント・対面による商談会などが行えない反面、WEBを活用した情報発信や商談会などの機会が増えている。新型コロナウイルスの状況を踏まえながら観光パンフレットの多言語化を進める。(デジタル化・冊子)
--	--

状況を示す写真や資料等



デジタル化を行った「佐渡さんぽ」

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
観光ガイド育成・活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物や歴史・文化について語る事ができる市民ガイドの育成を強化する。併せて、今後増加が予想される外国人来訪者に向けた外国語ガイドの育成を行うとともに、活用のしきみを構築する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市が制作したアプリ「金銀山ナビ」を活用し、金銀山ガイド26名と現地研修を行った。また、佐渡島には金銀山ガイドをはじめ、ふれあいガイド、トキガイド、ジオパークガイドなど様々なジャンルのガイドが存在する。島内で活動する全てのガイドを対象としたスキルアップ研修会を開催し、佐渡の歴史や文化について語るガイドの育成研修を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

スキルアップ研修等により、お客様対応、満足度向上のための研修を行っていく。

状況を示す写真や資料等



ガイドスキルアップ現地研修(26名参加)
(令和2年10月)



佐渡ガイド研修会(39名参加)
(令和3年3月)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
渋滞緩和対策事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和元年度～令和6年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容
 重点区域内においては「まちあるき」を推奨しているが、駐車スペースの確保や道幅の狭い道路等の改修が課題となっている。渋滞の原因となるこれらの課題を解消するための調査及び検討を行うとともに、来訪者の利便性向上を図るために検討結果に基づく新たな駐車場の整備や道路改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 令和元年度に引き続き、交通量予測を行った結果、渋滞予測を特定し対策案を整理することが出来た。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度の委託成果により、渋滞対策案について、令和3年度は関係課との連携を検討していく。

状況を示す写真や資料等



史跡金銀山付近の交通量調査箇所
(赤丸部分)



交通量調査の様子

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
来訪者用トイレ改修事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和2年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 来訪者の利便性向上のため、相川公園内に設置された公衆トイレの和式便器の洋式化を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年12月に洋式化工事に着手し、令和3年3月に工事を完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

相川公園トイレ



施工前



施工後

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
市内にある指定等文化財については、関連法令に基づいて保存・管理を実施するとともに、その所有者や管理者に対して、保存・管理に向けた助言等を行っている。
未指定の文化財を含めた具体的な保存活用の計画については、文化財保護法に基づき、新潟県における「文化財保存活用大綱」の策定状況を鑑み、その内容を踏まえた「文化財保存活用地域計画」の策定を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域である相川地区に所在する高田家は、薬品製造業で財を成した家で、通りに面した大型の住宅と薬品製造所は、釜山町相川の歴史的な景観を構成する重要な建造物の一つであることから、保存活用に向けた取組みを進めるため、国登録有形文化財の登録に向けた調査を実施した。
重点区域である相川地区は国の重要文化的景観に選定されていることから、家屋の修繕や改修を行う際には必ず所有者と世界遺産推進課調査係とで事前協議を行っている。
「文化財保存活用地域計画」については、今後検討を行うため令和3年3月に文化庁公式Youtube動画配信による職員研修会を実施し、世界遺産推進課職員計6名が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も各担当者と情報共有を行いつつ事業を進める。

状況を示す写真や資料等



調査を実施した高田家住宅主屋の様子



文化財保存活用地域計画に関する職員研修会の様子
(令和3年3月)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の修理、周辺環境の整備、防災・防犯について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 指定文化財の修理にあたっては、文化財保護法や新潟県及び佐渡市の文化財保護条例に基づき適切に行うとともに、必要に応じて文化庁や新潟県、佐渡市文化財保護審議会などから指導・助言を受けるなど、関係機関や専門家と連携して実施する。なお、所有者等の財政的な負担軽減を図るため、各種補助制度を積極的に活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要文化財建造物や相川地区の文化的景観に関連する修理や整備を実施する際には、これらの文化財を適切に保存し、活用を図るため、文化庁・新潟県、佐渡市が主催する専門家会議の専門家より指導・助言を受けながら事業を実施した。文化財の修理に関しては、町並み景観整備支援事業補助金による修理費用への支援を行っており、令和2年度は5件の修理事業に対し補助を行った。地域の防災力を向上させるため、地域住民による島内先進地視察や意見交換会を実施し、自主防災組織の育成・強化に向けて取り組みを行った。また、重点区域内にある重要有形文化財等に対し、防災点検事業などの指導を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	修理や整備に関しては、他自治体における修理事例や専門家による指導を受けながら、適切な修理内容・事業スケジュールの更新や予算削減に向けた取り組みを進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



大立竪坑槽保存修理に伴う調査の様子



高任粗砕場足場設置の様子



島内先進地(宿根木地区)視察の様子

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 重点区域内にある佐渡金銀山ガイド施設において、佐渡金銀山の魅力や価値を伝えるための展示解説や企画展、イベント等の開催により、文化財の情報を広く発信し、普及・啓発をするための取り組みを行っている。将来の文化財保存に向けた次世代育成として、児童や生徒を対象とした郷土学習や課外授業を行っている。さらに、歴史資源や文化を活かしたまちづくりに関する講演会・シンポジウム等の開催を通して、地域におけるまちづくりへの取り組みを促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

金銀山ガイド施設では普及啓発を目的とし、年数回のイベントや企画展を実施している(令和2年度は6回実施)。また、地域の特色ある埋蔵文化財活用事業にて、市内の小中学生を対象に出前授業などを実施した(3校)。佐渡市民を対象とした「歴史まちづくりフォーラムin相川」を開催し、2日間で延べ94名が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	次年度実施予定の文化財防火デーは、消防訓練だけでなく、正法寺の文化財的価値を伝える時間を設け、地域住民を対象とした普及啓発も意識する。

状況を示す写真や資料等



折り紙建築(令和2年8月)



出前授業(勾玉づくり体験)



歴史まちづくりフォーラムin相川
 基調講演の様子
 (令和2年11月)



歴史まちづくりフォーラムin相川
 まちあるぎの様子
 (令和2年11月)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		令和2年度
国の歴史的風致維持向上計画 相川重点、市申請が認定	令和2年3月28日	新潟日報
佐渡市の歴史的風致維持向上計画が認定	令和2年4月9日	毎日新聞
相川上町 防災意見交換会	令和2年9月16日	サドテレビ
相川上町 防災の取り組みを宿根木で学ぶ	令和2年10月8日	サドテレビ
歴史生かしまちづくり 14、15日フォーラム	令和2年10月27日	新潟日報
歴史生かしたまちづくりを 村上、佐渡など参加	令和2年11月6日	新潟日報
佐渡市の歴史まちづくり計画を認定	令和2年11月12日	建設速報
歴史まちづくりフォーラムin相川	令和2年11月15日	新潟総合テレビ
歴史まちづくりフォーラムin相川	令和2年11月25日	サドテレビ
文化資源で島いきいき	令和2年12月1日	新潟日報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

佐渡市の歴史的風致維持向上計画に関する内容が多くのメディアに掲載された。これらの報道等を通し、歴史的風致の維持向上に関する地域住民の認識が高まることが期待される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	SNS等を用いて、新聞やテレビをあまり見ない方への普及啓発も検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



相川上町防災ワークショップの様子
(令和2年8月/サドテレビ取材)



相川上町地区住民による先進地視察の様子
(令和2年10月/サドテレビ取材)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和2年度

項目

地域住民の認知度向上

計画に記載している内容 鉱山町相川の歴史・文化を活かしたまちづくりを進めるために策定した「佐渡市歴史的風致維持向上計画」を広く市民に周知し、住民理解の向上を図るとともに地域住民と協働し、歴史まちづくりの計画を進めるため、歴史まちづくりフォーラムin相川～歴史を活かしたまちづくり～を開催した。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和2年11月14日(土)～15日(日)にかけてフォーラムを実施した。基調講演後に実施したアンケートの結果、回答者の90%以上が計画について「よく理解できた」「まあまあ理解できた」と回答した。今後も類似イベントの開催を希望する声もあり、本計画の今後の展開について知りたいと思う住民が多いことがわかった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

今後も継続的に地域住民への情報提供を行い、協働したまちづくりを行う。

状況を示す写真や資料等

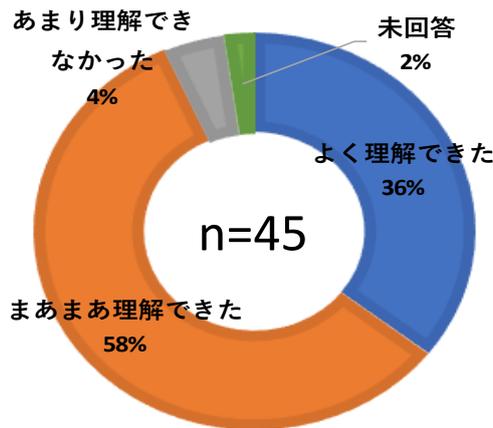


歴史まちづくりフォーラムin相川
基調講演の様子



歴史まちづくりフォーラムin相川
まちあるきの様子

Q. 歴まち計画の目的について理解できましたか？



アンケート結果(一部抜粋)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和2年度 第2回佐渡市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和3年3月24日	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・進行管理・評価シートについて、「実施したこと」だけが記載されており、やってみてどうか、成果があがったのか、といった内容が書かれていない。用意された記入欄にしたがい自己評価を記述しなければならないと思うが、そこが物足りないと感じる。 ・(課題と対応方針について)本当に課題が無ければ書かなくても良いと思うが、積極的に書いたほうがどれだけ事業に取り組んだかが伝わると思う。 ・いろいろ工夫しながら事業を行っているので、工夫や苦勞した点はぜひ記載してほしい。協議会、ひいては市民の理解が進むと思う。 ・たとえば4件の計画があり、4件行ったから予定通りということではなく、4件行うことでどのような効果を狙っていて、それに対しどのような効果が出たか?という書き方にしてはどうか?令和3年度の事業についても今のうちから考えていくことも大事だと思った。 ・予算がどれくらい使われているかわかれば、各事業の効果が十分であったかどうか、より考えられると思う。 ・旧深見家の利用について、今後は地域住民と活用等について具体的な話をすると良いと思う。 ・相川郷土博物館の補修について、内部の展示方針等も考えながら行ってほしい。 ・3次元点群モデルの作成は、目的等を明確にした上で行ってほしい。 ・既存の施設に映像体験設備を導入する際は、目的を明確にし、導入後の効果についても考えながら行ってほしい。 ・史跡のライトアップについては、その効果も考えながら行ってほしい。 ・重点地区である相川地区は、重要文化的景観の専門家会議にも関連している。歴史的風致維持向上協議会と専門家会議のお互いがどのようなことを行っているのか、簡単で良いので情報共有できるように配慮をお願いしたい。 	
(今後の対応方針)	
<p>協議会実施後、定性的・定量的評価および実施・検討にあたっての課題と対応方針について再考し、修正を行った。今後は「効果」についてより意識し、事業の効果を測るためにその事業のねらい等を意識していく必要がある。</p> <p>各事業の実施主体であるそれぞれの課に対し、事業のねらい、効果の測り方を意識するよう庁内会議等にて周知を行う。</p>	